様　式　Ｆ－７－１

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成２８年度）

1．機関番号　３２６０４

2．研究機関名　大妻女子大学

3．研究種目名　基盤研究(C)（一般）

4．補助事業期間　平成２７年度～平成３１年度

5．課題番号　１５Ｋ０２２５９

6．研究課題名　日本語文学における検閲とジェンダー

7．研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
２０４３３７０８	ナイトウ　チズコ 内藤　千珠子	文学部	准教授

8．研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9．研究実績の概要

大正・昭和期の新聞・雑誌メディアの言語と小説の言語を主な対象とし、ジェンダーをめぐる言説論理が検閲制度とのかかわりによってどのように形成されたのかを明らかにしようとするのが、本研究の目的である。戦前期の検閲は、制度としての伏字を基本として実践されたが、本研究では検閲とジェンダーという主題に基づき、伏字とジェンダーの力学の関係性を検証した上で、伏字のもつ記号的効果を理論化し、検閲という観点から、日本語文学におけるジェンダー編成を明らかにすることを目指した。

大妻女子大学図書館、国立国会図書館、国文学研究資料館、都立図書館等で、大正期・昭和期の言説を資料として収集するとともに調査を進めた。今年度は、大正期の少女雑誌を中心に資料収集を行うことができた。また、ジェンダー論やセクシュアリティ研究、クィア理論に関する理論的文献について、研究会等での発表や討議を通じて、新たな理論的地平を獲得することにつとめた。

とりわけ、近代日本の言説のなかに、戦争や植民地主義の論理が定着していく過程で、ジェンダーの力学がどのように関わり、伏字を含んだ論理構造が形成されていったのか、暴力の表象を通じて考察を進めた。大正・昭和期のジェンダー構図の定型が、現代文学のなかにどのように再現しているのかについても検証することにつとめた。近代文学の代表的作品を引用して成り立った現代小説のなかに、戦争と暴力の問題系が、傷を含んだ記憶を物語として構築される過程に注目し、検閲的な言説をジェンダー論的な観点から整理して論文にまとめた。

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

10. キーワード

(1) 文学　(2) ジェンダー　(3) メディア　(4)

(5)　(6)　(7)　(8)

11. 現在までの進捗状況

（区分）（2）おおむね順調に進展している。

（理由）

資料収集としては、「少女世界」など婦人雑誌、少女雑誌を中心に収集を進め、大正期の言説を言語態分析していく上での見通しをたてることができた。

また、ジェンダー・クィア研究会への参加を中心として、研究者間で理論的な問題を共有しながら研究活動を行ない、韓国でも同様に、関心を共有する研究者同士で交流を深めることができた。

資料をもとにしながら、戦争とジェンダーをめぐり、戦時性暴力と証言というテーマで論文をまとめることができ、研究の目的である「検閲とジェンダー」について、新たな角度から考察するための端緒が得られた。進捗状況はおおむね順調だといえる。

12. 今後の研究の推進方策　等

（今後の推進方策）

現在まで、特に大きな問題はなく研究を進めることができたので、当初の研究計画にそって研究を推進していきたいと考えている。大妻女子大学図書館、国立国会図書館、国文学研究資料館や、国内外の研究施設・図書館を利用し、1次資料の収集にあたりたい。

平成29年度は、ジェンダー・クィア研究会や東アジア女性文学研究会での活動を継続するとともに、アメリカや韓国の研究者とも連携するかたちで、研究発表と研究交流を進めていきたいと考えている。

（次年度使用額が生じた理由と使用計画）

（理由）

（使用計画）

（課題番号： 15K02259 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

13.研究発表（平成２８年度の研究成果）

〔雑誌論文〕　計（１）件／うち査読付論文　計（０）件／うち国際共著　計（０）件／うちオープンアクセス　計（０）件

著　者　名	論　文　標　題
内藤千珠子	戦争の性暴力を証言する

雑　誌　名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
大妻国文	無	48号	2017	151-172	－

掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）
なし

オープンアクセス
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

〔学会発表〕　計（０）件／うち招待講演　計（０）件／うち国際学会　計（０）件

発　表　者　名	発　表　標　題

学　会　等　名	発表年月日	発　表　場　所

〔図書〕　計（０）件

著　者　名	出　版　社

書　名	発行年	総ページ数

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕　計（０）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

（課題番号： 15K02259 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。

〔取得〕　計（０）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計（０）件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（１）国際共同研究：－

17.備考

（課題番号： 15K02259 ）

（注）・印刷に当たっては、Ａ４判（縦長）・両面印刷すること。